

昭和十七年二月一日（毎月一回一日發行）

齊軒集

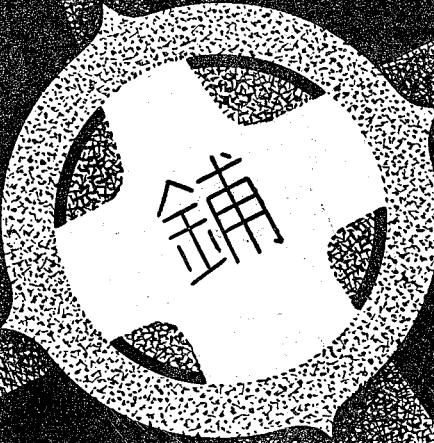
正路の改良

第二十四卷
第一二號

社團法人

道路改良會

鋪裝報國



鋪

東京・丸ノ内

日本鋪道株式會社

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新嘉坡・橫濱・名古屋
京都

飛行場鋪裝 道路鋪裝

加熱式アスファルト

アスファルト乳剤

セメントコンクリート

アスファルト乳剤製造



東京瀝材工業株式會社

本 社 東京市日本橋區吳服橋一丁目三番地

(三和ビル)

二六六六番
電話(日本橋) 五五一一番

東京工場 東京市江戸川區長島町五七〇五番地

電話(葛西) 〇〇四〇番

鶴見工場 横濱市鶴見區市場町七七四番地

道路の改良 第二十四卷 第二號 目次 昭和十七年二月一日發行

【口繪】北アフリカ伊太利植民地の大都市トリポリーに於ける海岸道路

卷頭言

論說

道路の發達と道路費の源泉 明治大學教授 麻生平八郎(三)

研究

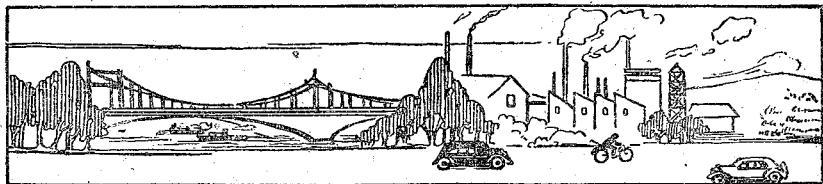
獨逸の交通取締規則(1) 多田基(10)

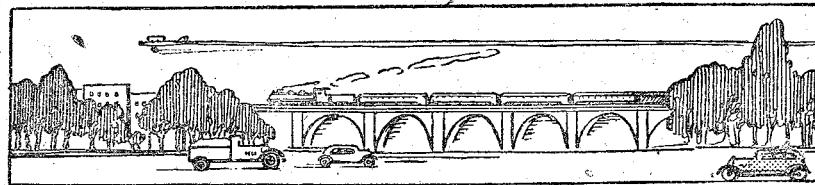
共榮圈内の經濟開發と交通(上) H T 生(10)

說苑

歷代内務土木局長と其時代=岡田文秀氏= 清水生(二七)

滋賀縣に於て施行した修路工夫訓練狀況 滋賀縣道路主事辰巳鼎(四)





米國陸軍の内幕と道路の話(1)

日野生(五)

時局日誌(五十二)

日野生(五)

内務省特報

内務省告示◎内務省訓令◎内閣告諭◎東條内相の謹話◎總理大臣の施政方針

◎内閣總理大臣並内務省首腦部交迭表

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例

S O 生(101)

雜報

評議員の委嘱◎大祓の式◎内務大臣の訓示◎川上幹事◎評議員縣忍氏◎評議員
男爵鄉誠之助氏◎宮本武之輔氏◎近刊圖書雜誌

(102)

叙任辭令

(111)

編輯室の内外

(114)

訂補重版出來！

內容見本御申越次第贈呈

道路職員必携

三五判 壱千百餘頁
レザークロース装函入

定價 金五圓

送料 (内地) 金十四錢
支那 金十八錢

(臺灣、朝鮮、滿洲)

本書は道路改良計畫並に其の設計の指針として、本會が特に道路技術並に行政の權威者三十餘名の方に執筆を依嘱し完成したるものにして、内容は豊富に且つ記述も實に精緻を極めたもので、印刷裝幘も鮮麗優雅にて携帶に便なるハンドブックである。

殊に道路構造令・街路構造令及細則につきても詳細に記載せる點に於ては、他に未だ嘗てその比を見ざるものにして斯界人士の必須書である。

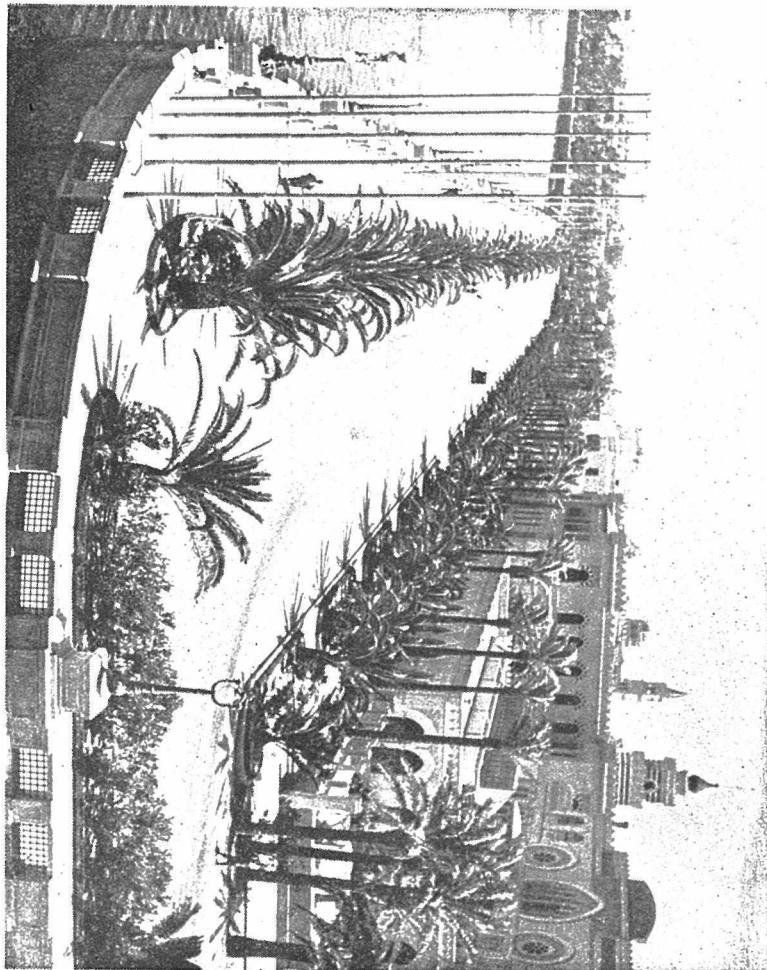
目次
第一編總論、第二編道路の設計、第三編土工、第四編道路の排水設備、第五編鋪裝の構造及施工、第六編工作物、第七編都市計畫街路、第八編交通整理及街路照明の施設、第九編道路材料、第十編維持及修繕、第十一編道路用器具機械、第十二編示方書、第十三編法規、(附錄測量に關する諸表其他)

本會々員及學生に限り
特價金參圓五十錢に頒つ

發行 法人道文路改良會
好文館

振替 東京 東京市小石川區諫訪町五十六番地
電話小石川(35)二三七七、二三七八、二三七九番
二九番

北アフリカ伊太利植民地の大都市トリポリに於ける道路



昭和十七年

道路の改良

二月一日

第十二四卷
第一二號

卷頭言

大東亜戦争！ 大東亜戦争の大詔渦發せられ、わが海軍部隊ははやくもハワイに奇襲してアメリカ太平洋艦隊を殆んど全滅せしめ、更にマレー半島沖にイギリス東洋艦隊の主力を殲滅し陥れた。又わが陸軍部隊はマレー半島に奇襲、敵前上陸を敢行して以來隨所に英軍を破壊して今やマレー半島の四分三以上を席巻し、イギリスの對支侵略據點たる香港は既に陥落し、又比島に上陸したる部隊はマニラを完全占領し比島攻略はまさに目捷の間に迫つて居る、斯くて無敵の堅固を誇れる對日包圍陣は米英兩艦隊の全滅によつて太平洋における制海制空の權は完全に喪失したのみでなく所謂A B C D 包圍陣も其の據點たる香港、マニラ及びグアム、ウエーキの兩島をも失ひ、また特にシンガポールも風前の燈火と化し西南太平洋における米英の全面的敗北は覆ふべくもない實に米英に對する太平洋の勝利は壓倒的なものとなつた、わが陸海軍の勝利は戰史に會て記されたる所なく轉た驚嘆に値する、併し現地派遣の陸海軍將兵が或は炎熱と戰ひ、或は病魔と戰ひ或は飛行機の整備に或は道なき所に道を作る工作に其の困苦は實に堪へ難きものがあるのを思はなければならぬ、統後國民は是を思ひ彼を偲び物資の不足も統制も衣料切符制も過大な増税も一人の異議不平をさしはさむものでなく克く之に從ひ以て必勝を期せねばならぬ。

米英を屈服せしむるまではあくまで戰争を戰かひ抜くべく、大東亜共榮圈の建設の爲め、大東亜防衛の爲め、絕對必要なる地域は帝國自ら之を把握措置して香港マレー半島の如き東亜禍亂の基地たりし點に鑑みその禍亂を芟除するのみでなく進んでこの地域を大東亜防衛の據點たらしめ、比島、ビルマ、蘭印、濠洲の如きは協力的態度を執るならば獨立の權を認め、重慶政權は徹底的に破碎し、獨伊との提携協力は愈々増強して世界新秩序の爲進し以て所期の目的を達成すべきは言を待たざる所で實に東條首相の大膽率直に表明したる所である。

大東亜戦争は戰を以て始め戦を以て終らしむるものでない、實に世界の和平に寄與し、世界の新秩序を建設すること即ち新世界を創造するを以て其の目標とするものである、故に吾と協力するの國に對しては仁慈と寬容とを以て之に接し苟くも偏見固陋に墮することなく其の國民をして各其の生活様式に従ひて生活せしむるものである。

元來新秩序と謂ふは各國が自由經濟と資本主義とを抛棄し各其の處を得て協力し政治に經濟に文化に共存共榮の相を現はずと謂ふに外ならない、斯くして此に眞の平和が招來するのであらう。吾曹は言ふ、大東亜戦争は侵略主義によるにあらずして眞の平和をもたらすに在る。(逃民)